

国民年金情報 保険料の追納をしませんか？

問い合わせ先

市民課市民年金係 ☎ (25) 7211 七城総合支所市民係 ☎ (25) 1000
旭志総合支所市民係 ☎ (37) 3111 泗水総合支所市民係 ☎ (38) 2105

保険料の免除や若年者納付猶予、学生納付特例を受けた期間は、10年前までさかのぼって納めること（追納）ができます。免除等の承認を受けた期間は、保険料を全額納付したときに比べ、受け取る年金額が少なくなるため、年金額を満額に近づけるためにも生活に余裕が出来たときは納めるようにしましょう。

なお、保険料の免除や若年者納付猶予、学生納付特例を受けた年度から起算して3年度目以降に保険料を追納する場合には、承認を受けた当時の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乗せされます。平成20年度に追納する場合の金額は次のとおりです。

承認を受けた月の年度	追納額（1カ月分）		承認を受けた月の年度	追納額（1カ月分）			
	全額免除	半額免除		全額免除	半額免除	4分の1免除	4分の3免除
平成10年度	16,590円	—	平成15年度	13,970円	6,980円	—	—
平成11年度	15,950円	—	平成16年度	13,770円	6,880円	—	—
平成12年度	15,320円	—	平成17年度	13,810円	6,910円	—	—
平成13年度	14,740円	—	平成18年度	13,860円	6,930円	3,460円	10,390円
平成14年度	14,180円	7,090円	平成19年度	14,100円	7,050円	3,520円	10,570円

平成20年5月から社会保険事務所の窓口での現金(保険料)領収が原則として廃止になりました。

国民年金保険料の納付方法は、これまでにコンビニ納付やクレジットカード納付の導入など、納めやすい環境作りを進めてきました。

社会保険庁では、今般、これらの納付方法による納付を促進するとともに、不適切な取り扱いの再発防止

策の一環として、平成20年5月から、原則として社会保険事務所の窓口における国民年金保険料の現金領収を廃止することとなりました。なお、被保険者の利便性を図るため、下記のように段階的に廃止となりますのでご理解をよろしくお願いします。

社会保険事務所窓口における国民年金保険料領収の段階的廃止表

保険料別	平成20年5月～平成20年9月	平成20年10月～平成21年9月	平成21年10月～
① 納期限内に納付する保険料	×	×	×
② 未納保険料	○	×	×
③ ②を納付するために来所した者が納付する②以外の保険料	○	×	×
④ 時効中断により納期限から2年を経過した保険料	○	○	○
⑤ ④を納付するために来所した者が納付する④以外の保険料	○	○	○
⑥ 集合徴収等、日時を指定して来所させた者の未納保険料	○	○	×
⑦ ⑥を納付する際の⑥以外の保険料	○	○	×
⑧ 強制徴収対象者の保険料（未納保険料以外の保険料を含む）	○	○	○

5/16(金) 菊池農業高校で「交通安全・二重ロック」を呼び掛けるキャンペーン

菊池農業高校（川田博史校長）の自転車通学をする生徒約30人が、自転車に「交通安全・二重ロック」と書かれたのぼり旗を取り付けて、交通安全と二重ロックをアピールしました。同校は過去に在学生在が交通事故で亡くなるという痛ましい事故を経験していることから、全校をあげて交通事故防止に取り組んでおり、新入学の時期に合わせ、交通事故と盗難防止の呼び掛けが行われました。



通学自転車で「交通安全・二重ロック」と書かれたのぼり旗を取り付けて、キャンペーンに出発する生徒

同校正門前であった出発式では、川田校長が「みんなが自覚をして交通事故に遭わないように、起こさないようにしてください。この取り組みをクラスの中に広め、地域の人にも広めてください。そして、事故のない学校にしましょう」とあいさつ。生徒会交通委員の福永朋美さん（3年）が「この取り組みで私たちも含め、地域の人たちにも交通安全と二重ロックの意識を深めてもらいます」と宣言し、早速生徒たちは、のぼり旗を取り付けた自転車でまたがり、同校から孔子公園までの約1キロを走行して、横を通行する車のドライバーに交通安全と二重ロックをアピールしました。

菊池市内の中学校5校で、それぞれ体育大会がありました。

菊池南中学校（田中耕治校長）では、赤・白・青・緑団に分かれた全校生徒490人が参加して競技が行われました。

開会式では、田中校長が「大切なのは遅い早いではなく、全力で取り組むことです。いつまでも思い出に残り、記憶に残る体育大会にしてください」とあいさつ。生徒の代表が「大会のテーマ『New South Wind～みんながひとつになった時 新たな南中伝説が生まれる～』のもと、このグラウンドに青春のエネルギーを完全燃焼させます」と力強く選手宣誓して、生徒たちは元気いっぱい各競技に臨みました。

100m走やリレー、ダンスなどに精一杯取り組む子どもたちの姿に、保護者などからは盛んな声援が送られました。

5/18(日) 市内5中学校で体育大会



100m走のゴール



牧野幸雄さんがヨット49er級の北京オリンピック日本代表に決定



世界選手権で帆走する牧野選手（右側）

泗水町久米一区出身の牧野幸雄さんが、8月に開催される北京オリンピックへの出場を決め、2月に泗水町に凱旋、応援活動が始まりました。

牧野選手は、小川安子さん（㊟久米一）の孫にあたり、小さい頃の休みの時は、泗水町で過ごしたり、平成17年の岡山国体に熊本県代表選出として出場した際には、久米の実家を拠点に活動していました。

幼い頃から父親の仕事の都合で愛知や富山県に在住。現在は熊本県セーリング連盟に所属し、福岡市を拠点に活動を続けています。

ヨットは、愛知県碧南高校時代に始め、アジア選手権2位、イタリアの大会で優勝するなど実力をつけ、8月の北京オリンピックではメダル獲得の期待が掛かります。